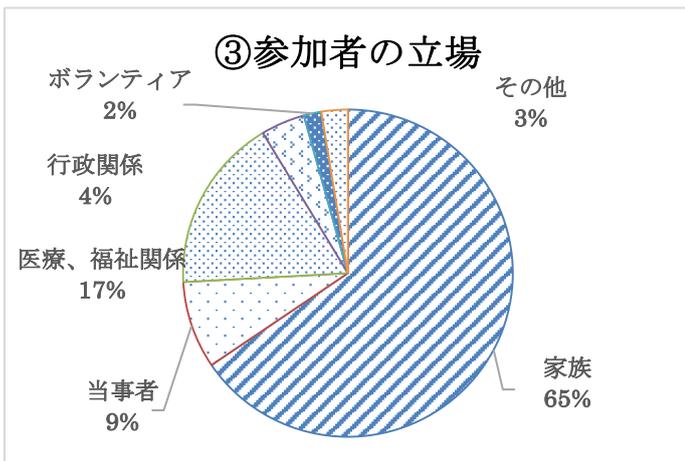
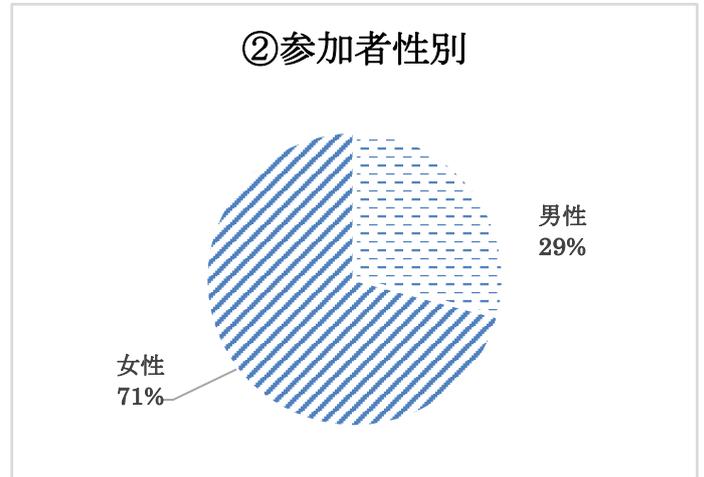
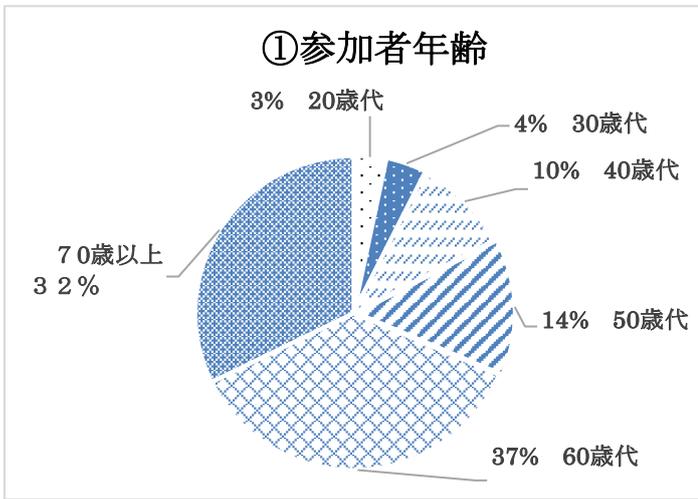


NPO 法人じんかれん 第46回県民の集い アンケート

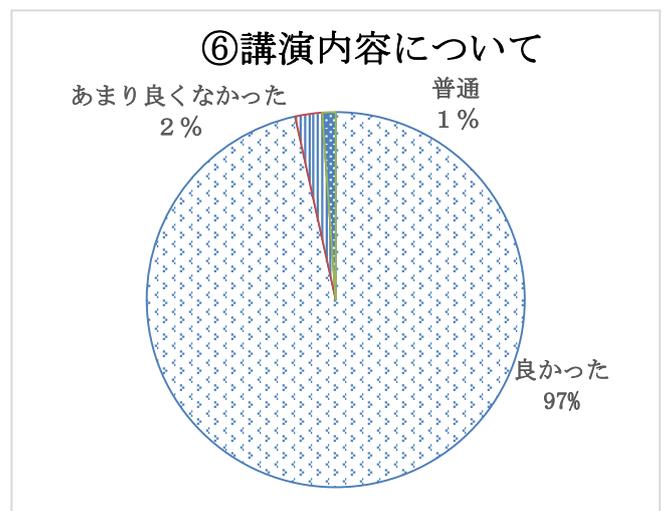
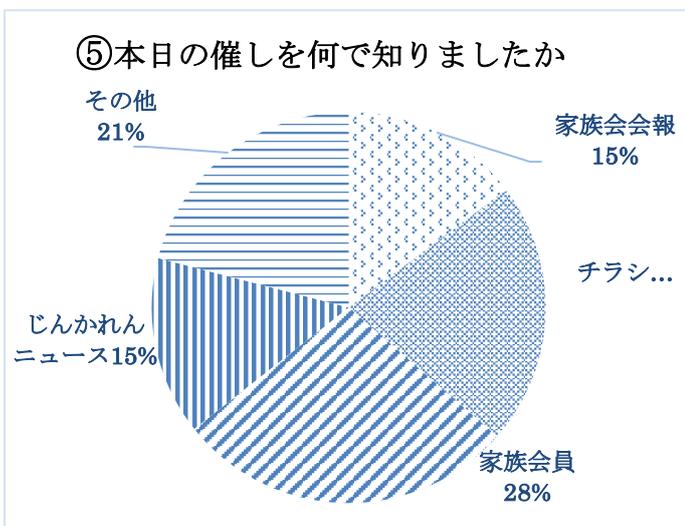
2019. 11. 13 於いて：平塚市中央公民館

《参加者293名の内アンケート提出者127名のデータより比率を抽出》



④お住まいの市町村

平塚市、厚木市 他、神奈川県内
16市町村からの参加がありました。



NPO 法人じんかれん 第46回県民の集い アンケート《夏莉先生の講演について》

- 家族・当事者・医療者でもある夏莉さんだからこそ語ることができる内容でした。医療者側に患者・家族の思いをもっと、もっと伝え広めてくださったら精神科医療の世界が変わるのではないかと思います。思いさらに社会も同時に良い方向に変わるのでないかと思ひ期待してしまいました。(家族)
- 本当に本当のことを言っていたという気がしました。当事者でなければわからないことが、いっぱいですね。少しでも精神科医療、福祉がよくなりますように。いいお話がうかがえてうれしかったです。(家族)
- 夏莉先生のようなお方の話を聞けて良かったです。私たちの本当の味方だと感じました。いつまでもお元気で、これからもよろしくお願いします。(家族)
- 家族の思いのわかる方のお話で、こういう方が医師の立場にいらっしゃることが心強いです。精神医療、地域の環境は課題山積みと思います。家族としての関わりとともに、先の課題への関心を深め、少しでも良い生活になるよう行動したいと思います。それにしても医師はなぜ病気について本当の専門家になれないのだろう。(家族、医療・福祉関係)
- 夏莉先生の講演を聞くのは2回目でしたが、当事者の立場からの意見には説得力があり、とても心にひびきました。私自身も先生と同じ立場だった事もあり、共感できる部分が多々あり、涙があふれる場面もありました。これからの精神医療がより良くなっていく事を願っています。(家族)
- 夏莉先生の大変なご苦勞を聞き、医師とは言え、当事者の気持ちもよくわかってくれて。医師が医師の中からも告発していきたいと言われ応援したいと思います。(家族)
- 前回、数年前にお聞きした時は先生の生い立ちが中心だった気がします。今回は心の奥の色々な事が聞け、又お医者さんの側の立場まで聞けました。色々ありますが、当事者は社会の中で生きているという所が心に残りました。(家族)
- 家族は被害者ではない！当事者は加害者ではない！の言葉、しっかりと忘れないで生きていこうと思います。でも家族2人でいると親の身の置きどころがないと思うときがあります。(家族)
- 心の変遷が素直に伝わってくるお話でした。幸、不幸はその人が決めること、他人が決めることではない。当事者には当事者の人生が、家族には家族のそれぞれの人生があるという内容を聞いて当事者に接する気持ちが変わりました。多分生き方も変えると思います。(家族)
- 家族、友人が精神医療にお世話になっている中で永年感じていた事、苦しい気持ちを実に明快に夏莉先生がお話し下さり、霧が晴れていくような気持ちになりました。(その他)
- 何回目かの夏莉先生の話、この先生は段々と飾りというものを脱ぎ棄てて行っている。残って

いるのは、母親の服だけかもしれない。真剣勝負に出ているのだ！（家族）

●先生のおっしゃる症状とは病識があってもなくても、脳の誤作動である。家族は本人への対応は「つらいネ」、この言葉をかける事が的確。私の娘にも対応していきたいと思いました。（家族）

●夏苺先生のお話が、心にしみて涙が出そうになるほどでした。薬もちろん、とても大切だけれど人も非常に大切なんだと、支援者である私は、当事者の人からしたら、大切な人のうちの一人なんだと見の引き締まる思いでした。（福祉関係）

●医師と、当事者、家族の間に立って考え、活動をしていることに意義を感じました。統合失調症患者でも結婚して良い、但し適切なサポートが必要に納得しました。（家族）

●スライドと共で分かりやすかったです。（家族）

●医療の立場にありながら、当事者と家族の心情に寄り添う、研究と成果のお話で、娘の悩み（薬、病識）について、もっと、もっと理解してやりたいと思います。又薬の処方的重要性もわかりました。患者にあった薬の処方の難しさも！先生は性格よりも薬の処方を良く考えてくれる人が良いですね。（家族）

●平均以上の精神科医を増やす（精神科医の質の底上げ）という表現が印象的でした。医療、福祉、行政、当事者、家族会、がワンチームで精神保健福祉が発展していければ良いと思います（家族）

●精神科医の立場から、内科、外科の医者に今日の話を持ってもらいたいと心から願います。精神科にかかっていた事で手術を受けられず、受け入れてもらえない住民がいる。本当に大変。どんどん身体状況は悪化している。外科医もわかっているけど、受け入れない社会があるのが現状。どうにかならないか。厚木医師会に訴えてみます！先生のところには依頼があったら絶対にきて下さいね。私もがんばります。（包括支援センター）

●薬を飲み続けることで、さらに症状が悪化していくのではないかという不安を常に持っていたので、悪い医者が人柄が良くて処方が適切でないという評価は本当にそうだと思う。（福祉関係）

●私の息子はパーソナリティ障害です。夏苺先生のお話のように医師を3回変えました。2院は診察に行った時、へらへらとバカにされて、症状が悪くなりました。今は良い医師に出会って通院しています。医師選びは本当に難しいです。私はこういう会に参加させてもらったのは初めてで、ちょっと思っていたのと、違った事は、子供をどう指導したらよいかを相談したかったです。（家族）

※この他にも、夏苺先生の講演は大変良かったというコメントが多数寄せられております。

NPO 法人じんかれん 第46回県民の集い アンケート《パネルディスカッションについて》

●実際の当事者の方の話から現状の精神医療の実態や問題点が浮き彫りになりました。又先生のお話からは最先端の治療への希望や期待が込められていて、考えさせられました。とても参考になりました。（家族）

●和田さんの強烈な本音、最高でした。家族の方の話もすごくリアルな現状だなと思い、やはり医療者のほうが、はるかに偏見があると感じます。当事者が何かしても、言っても信じてもらえなかったりします。ひどいと思います（当事者）

●当事者の本音を聞くことができ、勉強になりました。夏莉先生の苦悩を聞き、医師としての辛さもわかりました。発達障害に対する診療の方法が医師の間に広まって欲しいと思います。（家族）

●和田さん応援しています。田中さん（家族）の話も良く分かる気がします。先生の心の内も伝わりました。家族も自分自身が元気でないと見守れないと思います。（家族）

●現状の偏見が続いている状況を知る。何等かの横のつながりが必要、認知症と同じで周知がまだ足りない。（その他）

●和田さんのお話とても感動しました。本当に今でもある話なのかな？とても信じられないです。人格否定もはなはだしいです。（家族）

●医療従事者の心ない言動が今でも存在していることが、心が痛いです。自分自身も気付かない偏見がきっとあるので、言動を意識していきたい。（福祉関係）

●医療者側優位の現状に驚かされますが、夏莉先生のお話にとっても共感できました。私は介護の仕事をしてきましたが、利用者の中には、どう考えても発達障害に端を発する2次障害ではないかと思われる方が何人もいました。「薬を飲んでも治らない」と言われていたのは、状態に合っていないと思われたことでした。（その他）

●二人の体験談がすばらしかった。当事者の人権を考えない医者態度に怒りを覚えました。医者が変わってほしいです。（家族）

●精神科の主治医の人間性を具体的に聞いて良かった。病識のない人に対しての聞き方に「つらいね」は良い対処の仕方と思いました。（家族）

※勇気を持って登壇され、赤裸々に体験を話された和田さんに賞賛の声が多く寄せられました。
NPO 法人じんかれん 第46回県民の集い アンケート《ひよこバンドについて》

- 皆さんの頑張っている姿が印象的でした。オリジナル曲はとても良くできていてすごいなと感心しました。（家族）
- とても楽しかったです。生演奏を聴くのは久しぶりで、やっぱり音楽はいいなと思いました。作詞作曲ができて、自分の心を表現できてうらやましいです。（当事者）
- どのパートの方もとても生き生きとしていて障害も支えあつての演奏は凄いなと思いました。（当事者）
- オリジナル曲の歌が心にしみる言葉で非常に良かった。（家族）
- 当事者の方の心のさけびがメロディに乗ってリズムに乗って伝わってきて感動しました。我が子の気持ちと、だぶり涙、涙でした。ありがとう！（家族）
- どんなに心を合わせて練習して来られたか、素晴らしかったです。これからも人の心に希望と勇気、前向きなメッセージを下さるよう。一層のお力を楽しみにしております。有難う!!（家族）
- オープニングから感動しました。3曲とも大変良かったです。特にオリジナルソングは詩（歌詞）の内容は重いのに曲が明るくて聞きやすい良い曲でした。（福祉関係）
- 弘重氏の曲に共感し思わず涙が出そうになりました。今後も機会があれば、ぜひまた聞かせてください。ありがとうございました。今後の活動に期待します。（家族）
- 偉い人の挨拶より、よほど素晴らしかった。メンバー紹介のチラシを入れる等、もっとスポットを当てて欲しい。CDとか発売されているのですか？（家族）
- すばらしい演奏で、感動しました。作詞作曲された弘重さんの曲には、息子も同じようなことを言っていたとかなり涙がでてきました。本当に感動しました。応援したいと実感しました。（家族）
- すばらしかった。ハーモニカもとても良かった。くすりを飲んでいるせいか、顔の表情などがあまり明るくない、喜怒哀楽がおさえられていることを感じました。（家族）
- 楽器演奏でき、趣味として楽しむことはすばらしいことと思います。継続して下さい。そして皆様に聞かせて下さい。私もギターは少しやったことがあり、演奏できることに集中してわずかながら、今も練習していますが、そう簡単にはうまくなりません。すばらしかった。（家族）
- すばらしかった。特にオリジナル曲が良かった。色々な催しに出かけて行って、当事者の気持ちを発信し続けて欲しい。（家族）

◦「泣いたり怒ったりしたら人に迷惑かけるからいけません。言う通りにしていたらどうなった」このフレーズが痛かった。今日8才になる息子を（このように）しかったばかりだから、怒ってもいいんだよ…って抱きしめてあげればよかったなって。でもママだって苦しんだよ…って気持ちを伝えればいいね。ありがとうこれからも続けて下さいね。（包括支援センター）

◦ステージに立つには、プレッシャーがあり大変勇気がいると思うが良く頑張っていると思いました。これからも自信をもって演奏してください。（家族）

◦横文字の話があった。日本語で言ってほしい。（?）

◦歌詞が思い当たる事があった。（当事者）

◦オリジナル曲がとても心にしみました。タイムマシンは必要ないなと思います。ありがとうございました。（福祉関係）

◦病気と向き合いながらバンドを結成、感動しました。弘重俊雄さんの詩に感動、涙しました。すばらしい詞曲でした。（姪が統合失調症）

◦詩がとても良かった。曲もよかった。才能のある人ですね。ますますのご活躍を！（家族）

◦とても頑張って演奏されていてすばらしいと感じました。今後又いろいろな曲を楽しんで仲間の方と演奏して行ってほしいと思いました。（家族）

◦素晴らしい演奏でした。もっている能力を垣間見ることができました。自作の歌詞が。身につまされます。「じんかれん」としてもこれらの能力を表に出す活動をしたらどうでしょうか。（家族）

◦音がうるさくなくて良かった。内容もいままでで1番（家族）

◦感動しました。

仲間とこのような発表をなしとげられたこと、すばらしいです。オリジナル曲も、すばらしかったです。（家族）

※この他にも、素晴らしかった！感動した！というコメントが多数寄せられています。

NPO 法人じんかれん 第46回県民の集い アンケート《本日の催しについて、その他》

◦湘南あゆみ会、秦野のぞみ会の実行委員の方たちがテキパキと対応されていて今までに一番よかったように思いました。（家族）

◎場面転換などの調整が戸惑われている感じだったのでもう少しスムーズだと気持ちよいかと思います。（当事者）

◎回復させるのはクスリではなく、人であるというお考えに大体は賛同いたします。クスリも必要という点を誤解して不要と考える患者が出ないように注意は払うべきとも考えるので「大体は」としました。更に幸せという言葉に私は変わった考えを持っています。優劣を問う優生思想と同様に幸不幸を問う思想も不毛な思考と考えています。幸福かどうか考える必要はないと思います。しっかり生きるだけに専念すればよいと思います。（家族）

◎会場の暖房が入っていない様な感じがして、とても寒かったです。（家族）

◎障がいを持つことや持っていないなくても、子育て、毎日の生活、介護に共通する苦悩や疲れがあります。もっと多く開催（各地で、特に厚木で！）してもらいたい。（家族）

◎スライドが見つらなかった。全体的に明るくしてほしかった。（家族）

◎空調設備のことは、最初に伝えてほしかった。（家族）

◎開会挨拶時間 30 分は長い。10～15 分としてもらいたい。少しずつ、調整し、全体の時間を 2 時間～2 時間半位となれば一般人も入りやすいのでは。（その他）

◎会場への道案内ですが、バス停を降りた場所にも案内の人がいていただけたら良かった。（家族）

◎案内係に、駅で歩く方向を聞いたがはっきりしなかった。（家族）

◎開会式の花がじゃまして、壇上の方の顔が見えなかった。花の位置が良くなかった。（家族）

※運営面、設備面に対する苦言が目立ちました。次回以降の参考にしたら良いと思います。

※今大会について、多数の方から、感想、ご意見をいただきましたが紙面の都合上、すべては掲載出来ません。大変良かったという感想が大多数です。